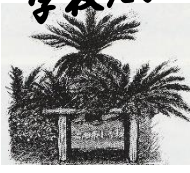


学校だより



「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」

リテツのオ

3月号

令和6年2月29日
横浜市立高田東小学校

学校HP:<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takatahigashi/>

一步踏み出す

校長 小田 和宏

今年は「うるう(閏)がある年」です。

「地球が太陽の回りを一回りするのを一年、365日としていますが、実際は365日と四分の一日程度なので、季節と暦のズレを解消するためには…」ということを考えて、壮大な宇宙の中で、地球が公転していることの不思議さを感じます。

先月には、小型月着陸実証機 SLIM が、当初の目標からわずか55メートルの誤差で着陸したという発表がありました。最初に無人月探査機が月に着陸したのが、今から58年前の1966年です。そこから、いえ、それ以前から宇宙に向かう夢を見続けた人々がいたからこそ、今回の世界5カ国目となる月面着陸の達成につながったのだらうと思います。

2月の朝会で、子どもたちにグローブを紹介しました。メジャーリーガーの大谷 翔平選手から贈られたグローブです。大谷選手からのメッセージには、「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」とありました。

大谷選手にとっての「野球」が、子どもたち一人ひとりにとって、何であるかは、わかりません。でも、「野球しようぜ」というメッセージは、野球に限らず、すべての人に向けて、「一步踏み出そうぜ!」と呼び掛けているように感じました。



2月26日、今年度最後の学校運営委員会が高田中学校で行われました。3校の取組を発表するとともに、学識経験者の生重委員より、高田のまちと学校との連携や取組について助言をいただきました。その中で、「取り組んでいることを知ってもらうための機会を増やす」という話がありました。保護者の皆様にご協力いただいた学校評価アンケートについて、学校 HP に掲載しています。その結果を見ても、どのように知ってもらうかを考える必要性を感じます。

来年度、高田中学校ブロックの3校では、併設型小中学校として独自教科「たかた科」の試行を行います。また、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現に向けて、授業時間数を見直し、日課表の変更を行います。51年目の一步を踏み出していきたいと思ひます。

今年度も、教育活動にご支援・ご協力をいただいたPTA役員・運営委員をはじめとする保護者の皆様、教育活動にかかわる人材とつながりいただいた地域連携協働本部の方々、学校運営協議会の委員の皆様、地域の方々に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。